

2 / 5

大安 木

旬のもの ラディッシュ

アブラナ科。旬は冬です。グリーンサラダの彩りとして、よく用いられるのが赤紫色のラディッシュです。西欧では古くから食されていましたが、日本には100年くらい前に伝えられ、今やすっかりポピュラーな野菜となっています。カブにそっくりで、直径2センチ前後の小ぶりの球形根部（細長い種類もある）を食べます。一年中生産されますが、夏まき栽培では20日前後で収穫できますので、ハツカダイコンとも呼ばれています。家庭の庭先でも育ちます。

双子の日

「ふた(2)ご(5)」の語呂合わせから、双子育児用品の専門店である(株)ベラミが制定しました。この日を中心に「ふたご育児への理解と協力」を呼びかける運動や、育児にかかわる人々が交流できるイベントなどが企画されています。また、12月13日にも双子の日があります。

プロ野球の日

1936（昭和11）年のこの日、全日本職業野球連盟（現日本野球）の結成によりプロ野球が誕生しました。当時の加盟チームは、東京巨人軍（現読売ジャイアンツ）、大阪タイガース（現阪神タイガース）、阪急（現オリックスバファローズ）、名古屋軍（現中日ドラゴンズ）、東京セネターズ、大東京軍、名古屋金鯱軍の7チームでした。

2 / 6

赤口 金

旬のもの 海苔(のり)

海苔は糊に通じ、ねばつく状態が語源で、海水産と淡水産があります。海水産ものの代表が浅草海苔で、江戸時代のはじめ、品川、大森、隅田川近辺でとれた生の海苔をすいて天日で乾かし、製造するようになったところから、浅草海苔というようになりました。淡水産のものは熊本の水前寺公園の池でとれる藻を使った水前寺海苔が有名で、藻を瓦に塗って陰干ししたものです。海苔には多くの成分が含まれていて、海の野菜といわれています。特に良質のたんぱく質、カルシウム、ビタミンA、ビタミンB12など、健康に欠かせない成分を多く含んでいます。

海苔の日

海苔が年貢として指定された大宝律令が施行された日であり、また、このころに海苔生産の最盛期を迎えることから、全国海苔貝類漁業協同組合連合会が2月6日を「海苔の日」に制定しました。海からの贈り物である海苔に対する感謝の気持ちを込めて、毎年全国各地で記念行事が実施されています。

抹茶の日

愛知県の西尾市茶業振興協議会が西尾茶創業120年を記念して、茶釜の「風（2）炉（6）」の語呂合せから制定。全国の抹茶の約4割を生産している愛知県西尾市とその周辺地域が名産の抹茶をアピールすることを目的としています。